

燦々

SANSAN
光り輝く

豊穰祈願祭



特集 青年部・女性部と
JA常勤役員との意見交換会



JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.179



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272241 FAX 0145-273941
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2

平成29年2月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai.co.jp
メールアドレス
info@ja-tomakomai.co.jp

印刷 株式会社 須田製版

JA共済

平成29年3月31日(金)まで

当チラシ広告の有効期限は平成29年3月31日までです。
※金利情勢等によっては、お申込みを制限させていただく場合がございます。

JAの1型 養老生命共済

ご契約例 20歳女性・10年満期・満期共済金100万円・年払い・口座振替でご加入の場合

年払い掛金 95,275円×10回

10年で952,750円 (共済掛金合計)

差額がなんと!! 47,250円

10年後の満期共済金 100万円

満期共済金100万円プラン共済掛金表(口座振替掛金) ※50万円から始められます。

性別	年齢	年払い掛金	共済掛金合計	差額(満期共済金-共済掛金合計)
女性の場合	20歳	95,275円	952,750円	47,250円
	30歳	95,415円	954,150円	45,850円
	40歳	95,746円	957,460円	42,540円
	50歳	96,630円	966,300円	33,700円
男性の場合	20歳	95,522円	955,220円	44,780円
	30歳	95,704円	957,040円	42,960円
	40歳	96,288円	962,880円	37,120円
	50歳	98,126円	981,260円	18,740円

貯まります 保障+貯蓄にビックリ! 万一の保障を得ながら、着実に資金を貯められます。

増えます 満期共済金にビックリ! 共済掛金合計と満期共済金の差額にご注目ください。

抑えます 節税効果にビックリ! 共済掛金は生命保険料控除対象となります。

詳しくは当JAまでお気軽にお問い合わせください。
この資料は掲載を目的としたもので、ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」(必ずご確認ください)と、ご契約の際には、「重要事項説明書(主要条項)」(必ずご確認ください)をお読みください。

●お問い合わせは

JAとまこまい広域各支所共済課まで!!	白老 0144-82-2266	早来 0145-22-2525
	苫小牧 0144-72-6888	追分 0145-25-2525
	厚真 0145-27-2244	穂別 0145-45-2211

プレゼント

下記解答用紙を切り取り、P12のまちがいがしの答え、イラスト、身近な話題や感想を書き添えてお寄せ下さい。
抽選で図書カードをプレゼントいたします。
FAX(0145)27-3723に送信して下さい。ハガキでも受け付けています。
(宛先はクイズ同様、JAとまこまい広域本所・営農課まで)
多くのご応募お待ちしております。

締切 2月28日(火)
当日消印有効。発表は3月号です。

●イラスト

●2月号のまちがいがしの答え

●今月号の感想や最近の出来事

郵便番号: 〒 _____

氏 名: _____ ●組合員 ●一般

住 所: _____

年 齢: _____ 歳

電話番号: _____

H28とまこまい広域農協青年部道外視察研修報告

11月24日から26日の3日間、13回目となる広域青年部主催の道外視察研修が開催され、青年部員10名が参加しました。同視察研修は部員の知識を深め、今後の青年部活動と農業経営に生かしていくことを目的に毎年開催されており、今回は中部地方の新潟県で「新潟県農業総合研究所」、「JA柏崎刈羽園芸サポートセンター」、「JA北魚沼利雪型米穀低温貯蔵施設」など合計3カ所の視察を行いました。

視察先の一つである「JA北魚沼利雪型米穀低温貯蔵施設」では、雪の冷風を利用し、消費者ニーズにあった高品質で「安全」「安心」な北魚沼米を提供するため、電動ラックなどを用いて食味品質毎に区分保管するなど、「北魚沼産」のブランド力強化の取り組みについて学ぶことが出来ました。



▲JA北魚沼利雪型米穀低温貯蔵施設で説明を受ける青年部員



弥彦山頂公園にて記念撮影▶



とまこまい広域農協青年部とJAとまこまい広域女性部がそれぞれJA常勤役員との意見交換会を行いました。十分に互いの立場を理解し合いながら、JA運営や地域農業の活性化に向けて積極的な運動を展開しようと活発な意見が飛び交いました。

とまこまい広域農協 青年部意見交換会 若手農業者から活発な意見が

農業・地域を担う青年部員の成長を図り、JA運動への積極的な参画を促すことが目的。

今年の意見交換では、近い将来の課題となる進む高齢化や担い手不足などの問題を懸念して、「青年部に期待すること、JAに期待すること」をテーマに開催しました。

JAの事業概要やJAプランVに係る営農支援事業、各部からの情勢情報などについてJAから説明を行いながら開かれた意見交換では、「平成30年に米の直接支払交付金制度が廃止した後の対策はどうなっているのか」「高齢化による担い手への農地集約に伴う基盤整備や排水対策の支援をお願いしたい」「有害鳥獣による被害防止対策の更なる充実や解決に向けた働きかけを」など、活発な意見や要望が出され、将来の地域農業振興に向け真剣な交流の場となりました。



▲開催にあたって挨拶する小泉貴裕青年部長

JAとまこまい広域 女性部意見交換会 JA事業に女性の声を届ける

1月20日、JAとまこまい広域女性部(佐藤美奈子部長)は日頃女性部員が感じていることをざっくばらんに提案しようとJA本所営農センターにてJA常勤役員との意見交換会を行い、JA役職員や女性部員など併せて18名が出席しました。

女性農業者の進出はJAグループで掲げる基本戦略の一つ。地域農業・JAの活性化に向けても生産・生活の両面を担う女性のパワーは必要不可欠で、「魅力ある地域社会づくり」を実現する為に女性力の発揮が強く望まれており、組織との対話も重要となります。

意見交換では、おふくろみそ事業の体制や施設設備の更新などの要望や、Aコープ店舗運営に関する意見の他、平成28年度から実施している一戸複数正組合員加入推進の進捗状況や今後の女性部活動展開、更にはJA女性役員の登用案等について意見交換をし、将来的な地域農業の維持・発展に向け前向きな意見交換会となりました。



▲女性部員から終始活発な意見が飛び交う

安平町和牛生産改良組合3年連続で全国分娩間隔表彰 小松浩さん4代連続高等登録雌牛系統表彰

安平町和牛生産改良組合(酒井徹 組合長)は12月22日、札幌市内で開催された北海道和牛振興委員研修会で、3年連続となる全国分娩間隔表彰を受けました。分娩間隔とは繁殖牛が子牛を産む間隔(日数)のことで、子牛を販売する和牛繁殖経営では重要な生産性の目安となります。目標は1年1産ですが、全国平均は412.44日、全道平均は423.97日で、寒冷地である北海道はストレスが多く、不利な傾向がある中、安平町和牛生産改良組合は384.49日で、全道平均より39日短い成績を収めました。

表彰を受けて酒井組合長は「3年連続の全国表彰は名誉なこと。組合員各位の努力と、飼養管理技術の高さの結果」としながらも、「今は和牛子牛が高く経営には有利なとき。十分な体力を蓄えてほしい」と話しました。



▲高等登録雌牛系統表彰を受ける小松さん

また、同研修会の中で、穂別支所の小松浩さんが4代連続となる高等登録雌牛系統表彰を受けました。和牛の高等登録は一般の登録とは異なり、産子の肥育成績が良く、かつ、分娩間隔の短い牛が受審資格を得る登録となっています。この度は4代連続表彰となり、本牛、母親、祖母、曾祖母が連続して高等登録を行い、飼養管理技術の高さが評価されました。小松さんは「我が家の大事な系統群。これからも優良な娘牛を残していきたい」と話しました。



▲全国分娩間隔表彰を受ける酒井組合長



広域

農業関係者たちが情報を共有

「第10回農業総合研修会」

「米政策・経営安定対策等に係わる意見交換会」

J Aとまこまい広域は12月22日、厚真町総合福祉センターにおいて第10回となる農業総合研修会を開き、農業者をはじめJ A役員、関係者など約120名が参加した。

同研修会は農業を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、迅速かつ正確な情報収集と、組合員と役員が共通認識を持ちながら行う事業推進が一層求められていることを受け、J Aの取組の一環として例年開催されている。

基調講演では、横浜国立大学・大妻女子大学名誉教授の田代洋一氏を講師に迎えて行われ、「農協改革・ポストTPPと地域農業の課題」をテーマに、政府が進めている農協改革の狙いや国会でのTPP協定承認による米国との2国間交渉



▲田代洋一名誉教授を迎えて行った基調講演

に対する懸念、農協自己改革の課題等について独自の目線で解説した。

第2部では農林水産省政策統括官経営安定対策室長の今野聡氏に、さらに総合研修会終了後、講師を務めた今野室長と各生産振興会代表、青年部・女性部J A中央会、ホクレン苫小牧支所、J A役員との「米政策・経営安定対策等に係わる意見交換会」を実施し、短期間での政策転換による農業者の不安感や規模拡大に対する担い手への支援対策の充実、今後導入される見込みとなっている収入保険制度の支援拡充等、農業支援策に関する質疑・意見が交わされた。



▲農水省今野室長との意見交換会

よる「米政策・経営安定対策の取り組み」と題した講演で、現状の米の動向や30年の動向の米生産調整の考え方、各種交付

金の概要について講演した。

第3部ではJ Aとまこまい広域が本年度導入することになっている農産物生産工程管理システム「apras（アプラス）」について、開発責任者である北海道日興通信(株)システム営業部長の村上雅文氏による講演が行われ、同システムの運用フローや専用帳票について説明された。

広域

2つの講義で知識を習得

第2回フロンティア塾

J Aとまこまい広域が主催する「フロンティア塾」は12月12日に第2回の講義を実施した。今回は、午前と午後の2部編成で行われた。

最初に「営農計画書の作成」と題して行われた講義では、次年度の営農計画書作成に向けて、基本的な記入方法や計算方法などをJ A職員が説明した。

午後からは雪印種苗株式会社の原子恵一販売係長・前智明氏とJ Aクリーン農



▲営農計画書作成に向けた講義が行われた



▲各種センチュウの説明をする原子氏

業職員が講師を務め「管内の輪作体系と緑肥の活用について」の講義を行った。講義では、各農産物のセンチュウや病気の特徴や土壌還元消毒の方法についてふれた後、センチュウ対策を考えた輪作体系や緑肥作物の選定についてスライドを使用しながらわかりやすく説明し、塾生からも好評を得た。

今後のフロンティア塾は、作物別分科会や講演会のほか、農業機械のメンテナンスについての講義が予定されている。

広域

豊稔祈願祭

実り多い安定した1年になることを願って

穏やかな新年を迎えた1月5日、自然の恵みへの感謝と今年の豊作を願い、J Aとまこまい広域による豊稔祈願祭が厚真神社で執り行われた。平成29年の豊稔を願う祝詞が、神主から読み上げられ、役員らが神前に玉串を奉納し、豊稔祈願祭を終えた。

昨年は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、また、農業情勢については、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱、日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、農業・J Aにとって先行き不透明感が増大する情勢変化のあった1年となった。



▲玉串を奉納する秋永組組合長

今年の干支は丁酉（ひのと）の「丁」は「安定する」という意味があり、「酉」は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのこと。この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した1年となるよう、J A役員一丸となつて地域農業振興に取り組んでいきたい。

厚真広域

青年部厚真支部と交棒会が出席

第10回あつま国際雪上3本引き大会

第10回あつま国際雪上3本引き大会（同実行委員会主催）が1月15日、厚真町かしわ公園野球場にて開催された。町内をはじめ苫小牧や札幌などから過去最多の44チーム約600人が参加した中、当J Aから過去に優勝経験のある「J A青年部厚真支部」と農協若手職員組織「交棒会」が参戦した。また、今回は節目の大会にあわせて、お笑い芸人らで構成した「よしもとチーム」も参戦し会場を盛り上げた。



▲交棒会チームも善戦した



▲カー杯綱を引く青年部厚真支部チーム

の要領で対戦し、先に2本を自陣に引き込んだチームが勝利となるため、力だけでなく戦略や判断力が勝負の鍵を握る。競技は3チーム16ブロックに分けた予選リーグと、各ブロック上位2チームが進出する決勝トーナメントで競い、青年部厚真支部と交棒会は別々のブロックで対戦し、それぞれ予選リーグを通過。その後行われた決勝トーナメントでは青年部厚真支部が2回戦で、交棒会は1回戦でそれぞれ敗退となったものの、全力で綱を引っ張り参加者の顔は晴れやかだった。

優勝は苫小牧市から参加した「パンブアップ塾苫小牧」チームが初優勝を飾った。

白老

白老牛と農産物に多くの人だかり

白老牛・農産物フェア開催

12月10日、白老支所横駐車場にて「産地直売 白老牛・農産物フェア」が開催された。当日は風が強く寒い一日だったが、白老牛やとまこまい広域産の新鮮な農産物、白老牛肉等を買求める多くの町民らでにぎわいを見せた。

白老牛・農産物フェアは毎年2回、8月と12月に開催されており、今回が今年最後となった。

メインの白老牛は（農）白老牛改良センターで肥育され、肉質の格付けでA4ランクの評価を受けたものを1頭（432kg）用意。会場の白老牛産直販売コーナーでは、ヒレステーキやサーロインス



▲多くの来場者が白老牛などを買求めた



▲農産物販売コーナーも好評を得ていた

ステーキ、しゃぶしゃぶややすき焼き用にスライスされた肩ロース等を地域還元価格で販売。開始時間の午前9時前から多数の来場者が詰め掛け、5〜6バックまとめ買いする方も多く、販売終了時にはほぼ完売した。また、白老産牛肉ハンバーグや白老牛コロッケも用意した数量がなくなるほど好評だった。

農産物販売コーナーでは、厚真産の花豆や黒豆等の豆類や長ネギ、追分産のゴボウ、穂別産の長いも等、旬の農産物を地域還元価格で提供。こちらも多くの方で溢れかえり、長蛇の列となっていた。ほかにも「たんとうまい」ともち米の新米や、「おふくろみそ」も年末を控え買求める来場者も多く盛況だった。

厚真

氷切り出し作業

氷室メーカーイン作りに向け準備



▲青年部員や職員の手で切り出される氷

1月23日、JAとまこまい広域では氷室メーカーインの貯蔵に向け、厚真町内での氷の切り出し作業を行った。氷室メーカーインは、昨年とほぼ同等の6トンを出荷する予定。氷室貯蔵施設に入れ、凍ることがない程度の低温で3ヶ月間保存することで、デンプンが糖化して甘みが増すとともに水分が抜けて馬鈴薯のホクホク感も増す。この完成した氷室メーカーインを使用した青年部特製のフライドポテトも様々なイベントで提供され年々人気を集めている。

当日の切り出し作業は前日に降った大雪の除雪作業から始まり、JA職員の他、



▲NHKの取材を受ける日西支部長

氷室メーカーインを厚真町の特産品にしようと思いついた青年部厚真支部も全面的に協力。縦65センチ、横40センチ、厚さ40センチほどの大きさに切り出された氷を、トラクターのバケットに載せて2トントラックに次々と積み込んでいた。

露出した顔が痛くなるほどの寒風が吹く中でありながら、職員と部員たちは交流を深めながら作業を進め、貯蔵施設に約14トンの氷を搬送し、1日がかりで作業を終えた。

また、この日はNHK室蘭放送局の取材を受け、作業風景の撮影のほか、青年部厚真支部の日西大介支部長らがインタビューに応じる姿も見られ、その日の夕方からのニュースで放送された。

追分

5月中旬の出荷に向けて始動

アサヒメロン種まきスタート

冬が深まり一段と寒さが厳しさを増す1月中旬、追分地区では特産品である追分アサヒメロンの種まきがスタートした。追分アサヒメロン組合では、例年5月中旬から10月下旬までの長期間にわたって出荷を行っている。今回取材したのは旭地区の林出さん宅で、種まきから約2週間経っており、苗はポットに移植されていた。



▲雪に囲まれた育苗ハウス



▲ポットに移植されたアサヒメロンの苗

「メロンの栽培で大切なのはハウスの温度管理。今年は冷え込みが厳しく、温度の確保には気を使う」と林出さんは話す。日中でも外気温が0℃を下回るこの時期では、育苗床の地温を確保するため、育苗箱の下にはマルチ・断熱材・稲ワラ・電熱線等を使い、また育苗箱の上に被覆資材（ビニール）を幾重にもかけて慎重に温度管理をしている。

この苗は2月中旬頃ビニールハウスに定植され、5月中旬の初出荷まで大事に育てられる。林出さんは初出荷を目指し、真剣な眼差しで育苗管理を行っていた。

穂別

「I LOVE むかわ町青年部」交流事業開催

青年部穂別支部とJAむかわ町青年部が新組織設立



▲ホクレンショップ沼ノ端店での様子

12月17日、「I LOVE むかわ町青年部」（須藤正人部長、東洋一副部長）の交流事業として、Aコープセレス店・穂別店、ホクレンショップ沼ノ端店・沼ノ端店にて「オールむかわ H28年野菜高騰ごめんね福引」を開催した。これは昨年8月の台風上陸に伴う農業被害により野菜価格が高騰し、農業者同様に消費者にとっても厳しい1年となったことをうけ、同組織初の試みとして行った。

「I LOVE むかわ町青年部」は、むかわ町両地区の若手農業者の交流を活性化させ、町内特産品のPRに繋げることとを目的に、昨年設立された新組織。現在はJAとまこまい広域青年部穂別支部



▲Aコープ穂別店での様子

（東洋一支部長）とJAむかわ町青年部（須藤正人部長）の部員で構成されているが、将来的には農業者に限らず、むかわ町を支える担い手の交流と情報発信のできる組織を目指すことを目的として、今後事業展開を図っていく。

福引は各店舗で2千円以上のお買い上げで引くことができ、特賞の「むかわの旬1年間定期発送」の権利や、1等の「鵜川産ほうれん草と穂別産長いもの詰め合わせ」等の景品が当たる他、参加者全員に穂別産新米「雪瑞穂」のすくい取りも実施し、大盛況のうちに幕を閉じた。

平成27年産 一般米共計精算

○販売先 (単位：円／俵)					○共計精算単価(諸費用740円控除後) (単位：円／俵)				
区分	販売先	金 額	販売俵数	1俵あたり単価	品 種		当初概算	最終精算	共計精算単価
一般米	ホクレン	1,902,891,317	147,401.5	12,910	ななつぼし	1等	10,060	1,236	11,296
						内低タンパク	10,560	1,236	11,796
	JA直販	85,639,701	6,829.5	12,540	きらら397	1等	9,760	1,236	10,996
商 社					ほしのゆめ	1等	9,760	1,536	11,296
						内低タンパク	10,260	1,536	11,796
						A次 6.8%以下	12,760	2,438	15,198
合 計					ゆめぴりか	1等	12,260	2,438	14,698
						B次 7.4%以下	10,060	1,238	11,298
						C次 7.9%以下	9,560	1,608	11,168
						D次 8.0%以上			

○精算金額 (単位：円)							
区 分		金 額	精 算 俵 数	1俵あたり単価			
一 般 米		2,081,529,903	172,000.5	12,102			
J A 諸 費 用	手 数 料	52,882,925		308			
	保 管 料	47,095,801		274			
	入 出 庫 料	17,144,267		100			
	検 査 料	9,257,895		54			
	D N A 、 他	687,830		4			
	計	127,068,718		740			
残 余 金		5,401	172,000.5				
合 計		2,208,604,022		12,841			

平成27年産 大豆 共計精算

○共計精算数量 (単位：俵)							○精算単価 (単位：円／俵) (消費税込み)						
品 種	区分	入 庫 数 量					品 種	区分	共 計 精 算 単 価				
		1 等	2 等	3 等	特定加工用	合 計			1 等	2 等	3 等	特定加工用	
スズマル	小粒	5,785.0				5,785.0	スズマル	小粒	8,542				
	極小粒				971.0	971.0		極小粒				7,820	
	(小粒)			288.0		288.0		(小粒)			7,422		
ユキシズカ	小粒	3,639.5	2,226.0		74.0	5,939.5	ユキシズカ	小粒	7,376	7,194		6,834	
	極小粒			467.0	1,036.5	1,503.5		極小粒			6,836	6,656	
	(小粒)			68.0	189.5	257.5		(小粒)			6,258	6,078	
ユキホマレ	大粒	20.5	7,884.0	3,576.0	344.5	11,825.0	ユキホマレ	大粒	9,274	9,090	8,910	8,730	
	中粒		1,487.5	1,249.5	51.0	2,788.0		中粒		8,912	8,732	8,552	
	小粒			297.5		297.5		小粒			8,154		
トヨムスメ	大粒		3,816.0	49.5		3,865.5	トヨムスメ	大粒		9,850	9,670		
	中粒			492.5		492.5		中粒			9,492		
とよみづき	大粒		1,478.0	58.0	55.0	1,591.0	とよみづき	大粒		9,100	8,920	8,740	
	中粒				244.0	244.0		中粒				8,562	
その他	小粒		17.5			17.5	その他	小粒		8,354			
合 計		9,445.0	16,909.0	6,546.0	2,965.5	35,865.5							

○精算金額 (単位：円) (消費税込み)						
品 種	区 分	共 計 精 算 金 額				
		1 等	2 等	3 等	特定加工用	合 計
スズマル	小粒	49,415,470				49,415,470
	極小粒				7,593,220	7,593,220
	(小粒)			2,137,536		2,137,536
ユキシズカ	小粒	26,844,952	16,013,844		505,716	43,364,512
	極小粒			3,192,412	6,898,944	10,091,356
	(小粒)			425,544	1,151,781	1,577,325
ユキホマレ	大粒	190,117	71,665,560	31,862,160	3,007,485	106,725,322
	中粒		13,256,600	10,910,634	436,152	24,603,386
	小粒			2,425,815		2,425,815
トヨムスメ	大粒		37,587,600	478,665		38,066,265
	中粒			4,674,810		4,674,810
とよみづき	大粒		13,449,800	517,360	480,700	14,447,860
	中粒				2,089,128	2,089,128
その他	小粒		146,195			146,195
合 計		76,450,539	152,119,599	56,624,936	22,163,126	307,358,200

次期役員選任に向け 「とまこまい広域農業協同組合役員推薦会議」が発足

昨年11月より役員選任に係る支所別推薦委員の選出及び地区別役員推薦会議が実施され、本年1月17日に各地区代表13名と理事会推薦1名による「とまこまい広域農業協同組合役員推薦会議」が開催されました。

委員長に選任された穂別地区の清川三十四氏を中心に、役員選任までのスケジュールや地区推薦役員の枠組み、各支所の進捗状況確認など、役員選任に係る作業が進められております。

今回は、本所・支所の役員推薦委員の名簿及び今後の役員選任までのスケジュールについて掲載致します。

各地区役員推薦会議推薦委員名簿

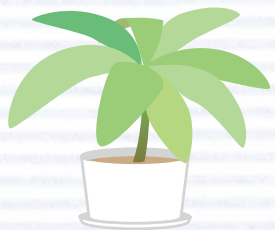
地区名	推薦委員	備 考	地区名	推薦委員	備 考
白老地区（7名）	堀部 豊	地区委員長	厚真地区（35名）	宮下 重雄	地区副委員長
	山下 廣司	地区副委員長		保田 政彰	
	桔梗原和夫			中田 久博	
	天野 清勝			池川 勝利	
	阿部 高幸			桜井 彰義	
	井澤 佑介			加勢 敏和	地区副委員長
	阿部 智子			川岸 長治	
苫小牧地区（6名）	及川 末男			田中 稔	
	野村 修	地区副委員長		本田 祐光	
	黒坂 章			山岸 勇雄	
	小野寺邦彰			小林 哲也	
	五十嵐貴満			奥井 貢	
	溝口 憲昭	地区委員長		山岸 巖	
早来地区（12名）	池田 直樹	地区副委員長		山本 孝	
	品川 真澄			小泉 修	
	立花 博			高山 昌三	
	酒井 克典			藤沢 富蔵	
	高橋 良夫			松本 日彦	
	橋本 秀行			堀 弘幸	地区委員長
	阿部 修一			村田 久明	
	嶋 敏樹			梅藤 正晴	
	土田 和明			松田 伯明	
	大井 信弘	地区委員長		角田 長久	
	斉藤 嘉博			大捕 雅寿	
	竹田 譲治			桐木 洋光	
追分地区（8名）	安井 貴志		穂別地区（15名）	山崎 基憲	
	工藤 満一			星 保夫	
	岩倉 啓一	地区委員長		小林 朋導	
	内海 茂			北山 正之	
	中道 栄一			小林 孝幸	
	岡田 幸男			佐田 正彦	
厚真地区（35名）	高橋 和芳			森本 豊	
	山木 穰	地区副委員長		小松 浩	
	大原 康雄			石崎 憲一	
	山本 隆司			由布 浩一	地区副委員長
	佐藤 泰夫			土屋 祐規	
	佐藤 幸一			石崎 寛文	
	早坂 信一			上村 義昭	
	得地 幸彦			中村 則彦	
	熊沢 和明			清川三十四	地区委員長
	若林 啓治			富田慎之介	
	当田 昭則				

とまこまい広域農業協同組合 役員推薦会議推薦委員名簿

地区名等	推薦委員	備 考
白 老 地 区	堀部 豊	副委員長
白 老 地 区	山下 廣司	
苫小牧地区	溝口 憲昭	
苫小牧地区	野村 修	
早 来 地 区	大井 信弘	
早 来 地 区	池田 直樹	
追 分 地 区	岩倉 啓一	
追 分 地 区	山木 穰	
厚 真 地 区	堀 弘幸	
厚 真 地 区	宮下 重雄	
厚 真 地 区	加勢 敏和	
穂 別 地 区	清川三十四	委員長
穂 別 地 区	由布 浩一	
理事会推薦	林出 勇一	

今後の役員選任実施 スケジュールについて

月 日	実施項目	内 容
2月22日頃	第1回理事会	①学識経験理事(2名)の 理事会推薦 ②学識経験常勤監事(1名)、 員外監事(1名)の理事会推薦
2月23日頃	第2回役員推薦会議	候補者の選任状況報告
3月7日頃	第2回理事会	役員候補者の理事会承認
3月中旬	監事会	監事候補者の監事会承認
3月中旬	第3回理事会	役員候補者最終決定
4月上旬	役員予定者会議	
4月11日	第16回総代会	役員の改選
	第4回理事会	役付役員の選任



さんさん あぐり講座

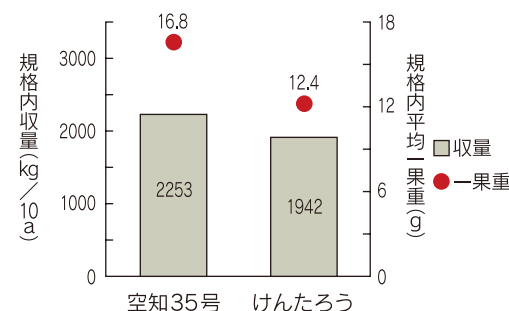
胆振農業改良普及センター東胆振支所

いちご新品種 「空知35号」の ご紹介

道内の春どりいちごの主要品種は「けんたろう」ですが、収量不足や小玉が多く収穫に時間を要することが課題となっています。これらの課題に対応するため、道総研花・野菜技術センターで新品種「空知35号」が育成されました。現在、厚真町のいちご栽培農家2戸にご協力を頂き、現地適応試験を行っています。そこで、今回は「空知35号」の特性を紹介します。

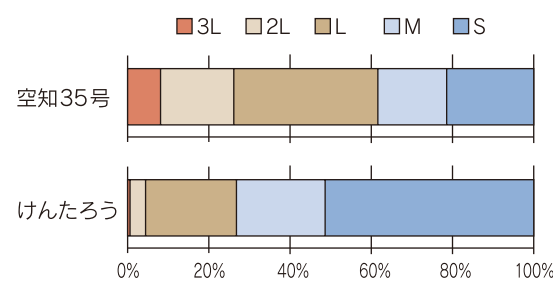
①収量性（「けんたろう」との比較）

- ・大果で、規格内収量がやや多い（図1）。
- ・生食用で求められる高単価な規格（L以上）の割合が高い（図2）。
- ・総収穫果数が少なく、収穫作業の省力化が見込まれる。



※農試、現地試験結果の平均値(平成25～27年、n=11)

図1 規格内収量・規格内一果重の比較



3Lは30g以上、2Lは22～30g、Lは15～22g、Mは12～15g、Sは7～12gの正形果

図2 規格別の収量割合

②果実品質

- ・果実外観および食味は総合的に同等（図3）。



「空知35号」



「けんたろう」

図3 果実外観（平成25年6月8日 花・野菜技術センター）

③耐病性

- ・主要な土壌病害（疫病・萎黄病・萎凋病）に対し同等以上の抵抗性を有する。
- ・「灰色かび病」および「うどんこ病」は、適正な防除下では「けんたろう」同様に少ない。

④短所

「空知35号」は「けんたろう」に比べ収穫初期に奇形果が多く発生しますが、収穫初期でも「けんたろう」と同等以上の可販収量を得られることから、十分な出荷量が得られます。

昨今、全道的に春どりいちごの作付面積は減少傾向にありますが、「空知35号」の普及により春季の道産いちごの安定供給が期待されます！

ワンポイント営農情報

平成28年度にクリーン農業係でサポートしている各種試験事業の取り組み概要を紹介します。紙面の関係で試験結果の詳細は掲載できませんが、くわしくは冊子として各生産振興会総会等で生産者へ配布する予定です。

平成28年度実践した「実証圃・試験事業」の紹介

水 稲 【難防除雑草対策・マンガン試験】

【特栽培米基準検証・直播技術現地適性検証・新品種適性】

●水稲のミズアオイ及び多年生雑草に対する確認

試験地区	厚真町1箇所、安平町早来2箇所
試験目的	体系除草剤効果と散布方法の確認、SU抵抗性多年生雑草に対する新規除草剤の効果を確認する。
試験結果概要	例年初期一発剤の処理でミズアオイ等が多発する水田を3対照区に初期剤と体型処理剤の組み合わせによる10試験区を設置した。圃場や雑草の種類による効果の違いはあるものの初期剤と体型処理剤の組み合わせによる除草技術の効果が確認され、今後の普及が期待される。

●いもち病抵抗性水稲新品種「そらゆき」の栽培適性

試験地区	厚真町2箇所、安平町早来1箇所、むかわ町穂別1箇所
試験目的	きらら397、ななつばしに対応するいもち病抵抗性水稲新品種「そらゆき」の地区内栽培適応性を確認する。
試験結果概要	粒重、収量、タンパク含有率では対応品種きらら397、ななつばしに優る結果、徒長傾向の育苗や初期茎数確保がきらら397、ななつばしに劣るので、早植えや密植などの初期生育を促進する栽培法が必要と判断された。

稲わら搬出モデル事業は確実に前進

モデル組合構成員21名へ増加（内オペレーター14名）
搬出面積90ヘクタール、搬出飼料用稲わら約300kg/10a
保管集積場120～150ヘクタール規模で安定出荷を確立

●水稲直播栽培における除草体系 厚真町1箇所（普及性）

●水稲直播技術適性試験 厚真町6箇所（研究会を設立）

●特栽培米基準に基づいた栽培検証 厚真町2箇所（継続）

●マンガン供給試験 厚真町2箇所（収量増の判定不能）

東胆振施肥防除合理化協議会の巡回

普及センター・ホクレン・JA関係職員による試験圃の確認活動



秋小麦【肥効調節型肥料・ゆめちから肥培管理】

●秋まき小麦に対する肥効調節型肥料の効果確認

試験地区	厚真町1箇所、安平町早来1箇所
試験目的	肥効調節型肥料による追肥作業の省力化と高品質・安定生産の効果を確認し普及を図る。
試験結果概要	ジシアマジアミド施肥により増収したが細粒と粒重が低く、タンパク値が高く品質に課題あった。当地区における「きたほなみ」での肥効調節型肥料の普及性は難しいと判断される。

●「ゆめちから」に対する追肥試験 安平町追分1箇所（検証中）

野菜栽培への土壌化学性・物理性改善試験

●転炉スラグによるpH調整による土壌病害回避の検証

トマト・ブロッコリー・ほうれん草 厚真町5箇所（検証中）

●ほうれん草圃場への深耕ロータリーによる心土破碎試験

トマト・ブロッコリー・ほうれん草 厚真町8箇所（検証中）

●馬鈴薯に対する硫酸カルシウム資材の効果確認試験

試験地区	厚真町3箇所
試験目的	土壌pHを上げることなく、カルシウムを補給する資材の効果を確認
試験結果概要	硫酸カルシウム施用により各試験区で概ね増収、そうか病、中心空洞、褐色心腐に対して効果を確認でき、普及性は高い。



南瓜の安定収量確保事業

●改善技術を実証するためモデル圃を設置

モデル圃	安平町早来1箇所、苫小牧市美沢1箇所 厚真町7箇所、むかわ町穂別3箇所
事業目的	需要が高い中で近年生産減少が続く南瓜栽培を土地利用型中小規模経営体の重点作物として位置づけるため、改善技術の普及性を検証する。
実証結果	改善技術として、「排水対策」「堆肥施用」「土壌診断に基づく基肥と追肥対応」「整枝と誘引技術の導入」「初期の低温風害対応のパオパオ被覆」「うどんこ病2回防除」等をモデル参加農家の判断で実践、収量確保の道筋が確認され、今後は生産組織を通じた普及が期待される。

試験事業の詳しい内容を知りたい方は、営農部営農課クリーン農業係までお問い合わせください。〔電話番号 0145-27-2246〕

📧 今月のあたより

今月は早目に寒くなり、いつものつもりで本漬
けしましたが、なかなか味が付かずまいち
です。

厚真町 木戸 美千子さん

今月号(12・1月号)を見ていると、小学校の頃
の先輩が「期待の農力」というコーナーに載っ
ていました。今後を支える生産者の方々、とて
も頼もしいです。頑張ってください。

厚真町 山田 美沙紀さん

このあいだ家族で洞爺湖に行ってきました。すっ
ごい大きい湖でした。乃の風にも行って洞爺湖周
辺を満喫!また洞爺湖いきたいなー!というわけ
でと一つとも良い思い出ができたのでした!

安平町 高橋 柚さん

🔗 編集者から

冬場の野菜不足解消の保存食として長年
親しまれているお漬物ですが、今では
日本食を代表する食べ物となりました。
出来上がりは毎年気候に左右されがちで
すが、今年の味と思って楽しみましょう。

🔗 編集者から

知っている方が掲載されている
とうれしくなりますよね。これか
らも未来の農業を担う方々をご
紹介できればと思いますのでご
期待ください。

🔗 編集者から

冬の湖は空気や水が澄んでい
て、きれいだったのではないで
しょうか。楽しい思い出ができ
てよかったですね。

みんなのコーナー



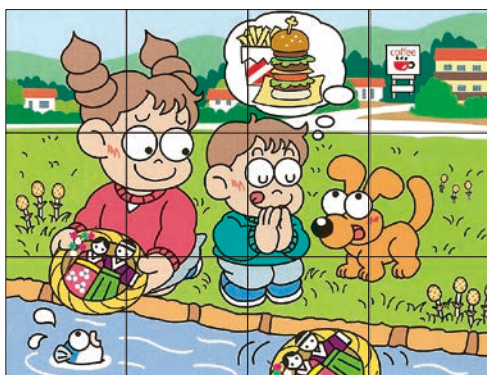
厚真町 山田 美沙紀さん



安平町 高橋 柚さん

まちがいまがし

下記のイラストの左右で違う部分、5カ所を探してください。



違う部分を下記の
枠内の数字で答え、
裏表紙の解答用紙
に記入して下さい。



📅 12・1月号プレゼント当選者

先月号の答えは「1・3・6・10・12」でした。
応募総数18名の中から
当選された方々には図書カードをお送りします。

笠原 桜空(厚真町) 五十嵐 則夫(白老町)
土屋 朝子(安平町) 坂井 美枝子(安平町)
木戸 美千子(厚真町) 新美 たかこ(苫小牧市) (敬称略)

🙏 お悔やみ 謹んでご冥福をお祈りいたします。

支所名	氏名	享年	月日
早来	岩花エミ子さん	85	11/2
早来	黒畑 榮作さん	67	11/7
早来	宮崎千代子さん	66	12/1

支所名	氏名	享年	月日
厚真	東川リワ子さん	95	12/2
追分	鈴木 哲夫さん	68	12/8
厚真	西村 勝彦さん	75	12/11

支所名	氏名	享年	月日
厚真	長門 松由さん	87	12/14
厚真	佐藤 政志さん	92	12/16



さんさんかか「期待の農力」

地域社会に必要とされ、

温かみのある愛される農業を目指して



とかし えい ちろう
富樫 瑛一郎さん(30歳)
安平町遠浅

瑛一郎さんは苫小牧東高
等学校から明治大学農学部農
業経済学科へ進学。平成22年
3月に大学を卒業した後、
父 儀禮さんの経営する(有)富
樫オークファームに就農。

就農のきっかけ
瑛一郎さんは幼い頃から父の背
中を見て育ち、自然と父の後を継
ごうと思っていた。
そして、農業を継ぐために進学
した明治大学農学部への授業や実
習で、農業者の高齢化や担い手不
足耕作放棄地の増加などの問題
を目の当たりにし、「自分が農業
をやらないわけにはいかない」と
思い、就農するに至った。また、平
成22年8月からの1年間、アメリ
カのHanorカンパニーにて養
豚研修も行っている。

目標とする農業とやりがい
法人経営である(有)富樫オーク
ファームは代表取締役である父
と、母、瑛一郎さん、12名の社員で
経営しており、農場HACCP認
証を取得している養豚部門では
年間出荷頭数約11,000頭、
また畑作部門では約110haの
作付けを行っている。
経営規模が大きくなるほど、省
力化と効率化は重要になってく
る。瑛一郎さんはそれを踏まえた
上で、「自動操縦・ロボット等の先
端技術を活用した省力化と、養
豚・畑作複合経営を活かした資源
循環等での効率化だけでなく、生
産した農産物がおいしいと言っ
てもらえることをやりがい、地
域社会に必要とされ「温かみ」あ
る愛される農業が目標」と話し
た。



ホクレン北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(1月) 平成29年1月11日

	性別	成立頭数 (頭)	価格平均 (円)	平均日齢/体重 (kg)	平均kg/単価 (円)
白老	去勢	46	868,217	1.149	2,637
	雌	31	758,710	1.081	2,339
苫小牧	去勢	4	710,000	0.932	2,393
	雌	1	792,000	1.166	2,250
早来	去勢	20	876,850	1.177	2,538
	雌	13	744,000	0.984	2,327
追分	去勢	2	875,500	1.193	2,571
	雌	1	662,000	1.168	1,870
厚真	去勢	26	873,885	1.209	2,618
	雌	11	730,364	1.015	2,336
穂別	去勢	28	860,893	1.165	2,548
	雌	15	742,733	1.103	2,282
とまこまい 広域	去勢	126	864,222	1.162	2,589
	雌	72	747,514	1.059	2,316
胆振管内	去勢	219	861,927	1.146	2,595
	雌	120	746,258	1.029	2,359
市場計	去勢	836	840,980	1.120	2,565
	雌	552	732,868	1.000	2,375

北海道地方 3ヶ月予報

予報期間/2月~4月 平成29年1月25日
札幌管区気象台発表

【予想される向こう3ヶ月の天候】

向こう3ヶ月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量
等の確率は以下のとおりです。

気温予想					降水量予想(太平洋側)				
3ヵ月	低30%	並30%	高40%		3ヵ月	低30%	並40%	高30%	
2月	低30%	並30%	高40%		2月	低30%	並30%	高40%	
3月	低30%	並40%	高30%		3月	低30%	並40%	高30%	
4月	低30%	並30%	高40%		4月	低30%	並40%	高30%	

〔2月〕 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

〔3月〕 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

〔4月〕 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日
が多い見込みです。

理事会報告

平成28年12月19日(月)に総合営農センターで第12回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 一般報告と当面する諸行事について | 8. JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について |
| 2. 11月末の財務報告について | |
| 3. 組合員と職員の異動について | 9. 家畜共進会・枝肉共励会の結果報告について |
| ・11月末現在 正組合員 974人(前月対比▲4人) | 10. Aコープ歳末謝恩大売出し実施計画について |
| 准組合員4,271人(前月対比▲5人) | 11. 平成28年度各支所組合員懇談会の意見集約について |
| 4. 固定資産の取得・処分について | 12. 経済事業・販売事業に係わる与信管理について |
| 5. 役員道外視察研修報告について | 13. 店舗改善委員会報告について |
| 6. 第3四半期定期監事監査の結果について | 14. 組合員代表訴訟の経過について |
| 7. 女性参与設置要領の一部改正について | |



- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 議案第1号 全国監査機構期中監査事務整備を要する事項への回答について | 議案第5号 全日食へのAコープ早来店賃貸に係わる仮契約の締結について |
| 議案第2号 公印管理規程の一部改正について | 議案第6号 出資の減口と譲渡について |
| 議案第3号 役員推薦委員の選任について | 議案第7号 理事の貸付について |
| 議案第4号 役員報酬審議会委員の選任について | 議案第8号 理事とのリース契約の締結について |

全日食チェーン「シティマーケット早来店」オープンについて

この度、全日本食品(株)との建物賃貸契約が成立し、平成27年12月末から閉店しておりました旧Aコープ早来店は「シティマーケット早来店」として全日本食品(株)が経営することとなりました。

つきましては、2月23日(木)オープン予定の運びとなりましたので、組合員及び地域の皆様におきましては、旧Aコープ早来店同様、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

1. オープン予定 平成29年2月23日(木)
2. 営業時間 午前9時00分～午後7時30分
3. 休日 1月1日、1月2日(それ以外は日曜・祝日も営業します)
4. クミカン(普通口座)決済

- ①クミカン・普通口座決済を希望する方は、事前に「全日本食品(株)専用利用カード発行申込書」による申込みが必要となります。
- ②申込みにより発行される「全日本食品(株)専用利用カード」を購入の際に提示し、受取書にサインをしてください。
※免許証を提示できる場合、カードは必要ありません。
- ③引落につきましては、毎月末締めにより翌月15日までに農協が代行して引落致します。

5. 配送 基本的には配送サービスは致しません

詳しい内容等のお問い合わせにつきましては、
本所経済部 三上または竹内までご連絡願います。(TEL:0145-27-2241)

J A 日 誌

2017 2月

- | | |
|--------|--|
| 16日(木) | 北海道指導農業者、農業者称号贈呈式(札幌)
(指導農業者～宮本義彦氏、高橋康二氏・農業者～武田信一氏) |
| 17日(金) | 地区別組合長会議(札幌) |
| 18日(土) | |
| 19日(日) | 木村茂雄氏叙勲受章祝賀会(安平) |
| 20日(月) | 第1回企画会議
水稻温湯消毒開始 |
| 21日(火) | もぎたて市総会 |
| 22日(水) | 第1回理事会、第1回監事会、第1回生産施設運営委員会、
第1回地区担当理事会 |
| 23日(木) | 本所第2回役員推薦会議、フロンティア塾(第4回)、
全日食チェーンシティマート早来店開店予定 |
| 24日(金) | 第1回管理委員会、第1回生産委員会 |
| 25日(土) | |
| 26日(日) | |
| 27日(月) | JA農畜産物直売所研修会事例発表(札幌)、全国監査機構期末監査(～3月3日)、
決算監事監査(～3月3日)、農商工連携事業認定キックオフ会(厚真) |
| 28日(火) | 退職辞令交付、全道酒米協議会(札幌) |

2017 3月

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 1日(水) | みなみ北海道農業共済組合設立、定期異動辞令交付、
土づくり推進研修会 |
| 2日(木) | |
| 3日(金) | |
| 4日(土) | 冬の貯金キャンペーンスイーツクッキング講習会
(苫小牧) |
| 5日(日) | |
| 6日(月) | |
| 7日(火) | 第2回理事会、第1回経営指導委員会、
北海道クリーン農業セミナー |
| 8日(水) | 肉牛市場 |
| 9日(木) | 広域女性部通常総会 |
| 10日(金) | 乳牛市場
広域米・畑作3振興会合同総会・講習会 |
| 11日(土) | |
| 12日(日) | |
| 13日(月) | |
| 14日(火) | 中央会通常総会(札幌) |
| 15日(水) | |

J A
からの
お知らせ

J A イベント情報

J A バンクからのお知らせ

ATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

このたび、JAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■休止日 平成29年(2017) 3月18日(土)
5月 4日(木・祝)／20日(土)
9月16日(土)・17日(日)

■休止させていただくサービス



JAバンクのATM
JAバンクのATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス



ネットバンク(個人・法人)サービス
パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、残高照会や振込・振替など、すべてのサービス



コンビニ等のATM
JAキャッシュカードによるセブン銀行、ゆうちょ銀行、その他提携金融機関やコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス



デビットカードサービス
デビットカード機能がついたJAキャッシュカードによるJ-Debit加盟店での代金決済

早来支所 小農機具展示販売会

農業に欠かせない小農機具の展示販売会を下記の日程にて開催します。各種工具やコンプレッサーなど春からの本格的な営農に向けた整備機具や、鍬や鎌などの小農機具を販売いたします。会場では熱々のうどん・そばも無料でお配りしますので、是非お立ち寄り下さい。



期 日 3月22日(水)
時 間 午前10時～午後3時まで
会 場 早来支所資材店舗前